

西部地域 景観たからものマップ(案)

① 秋田臨海鉄道南線脇の道路景観



工業地帯を優しく包む深い緑の林を過ぎると右手に秋田運河の川岸の風景が広がり、左手には工場の景色が楽しめる。

② 新港大橋から見える風景



北側には向浜工場地帯の象徴である工場の煙突がそびえ、南側には勝平山公園の緑を背景に、秋田運河と県立プル・県立武道館の近代建築がマッチした風景を広げている。

③ あかしアロード



ドライブ用の風景。防風林の緩いカーブの松林を過ぎると、雄大な風車が出現する。

④ 県立野球場こまちスタジアム



周辺の松林と一体となり、松林越しに、こまちスタジアムが見え隠れする。

⑤ 雄物川河口



水面の青、対岸の緑、太平山とのパノラマが雄大。

⑮ 日本海を望む



夕焼けや夕陽が沈む姿はとも美しい。黒松の防砂林と浜辺が続く景観も雄大。

⑯ 八幡神社と八田の親杉



広がる田園風景の中に八幡神社の鎮守の森が浮かび上がり、森を北東から望むと奥には八田の親杉が見える。八田の親杉からも鎮守の森が見え、厳かな光景が広がる場所である。

⑳ 旧八田小学校周辺



旧八田小学校の色鮮やかな建物と門、敷地内の四阿、敷地隣の用水路、向にある八田神明社など、多くの要素が調和し、独自の景観をつくりだしている。

㉑ 柳沢橋周辺



旧道を進むと、通り沿いのため池が見えてくる。池の奥には木々の間に柳橋が浮かび、幻想的な景観をつくりだしている。

⑥ 三角沼



住宅地の眼下にのどかな風景の一コマがたたずんでいる。

㉒ 下浜工業団地



整えられた家並みや街路樹、工業地域側の石垣などが美しい。バイパスから工業団地までの道路も街路樹が見事。

㉓ 羽川公民館前の通り



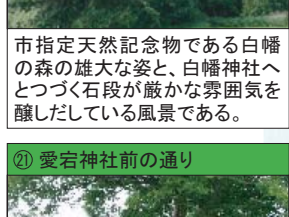
庭木や生垣に彩られた通りには、歴史を感じさせる家がいくつも存在し、趣のある景観となっている。

㉔ 白幡の森



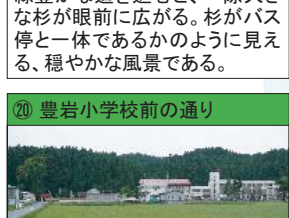
市指定天然記念物である白幡の森の雄大な姿と、白幡神社へとつづく石段が厳かな雰囲気を感じさせている風景である。

㉕ 愛宕神社前の通り



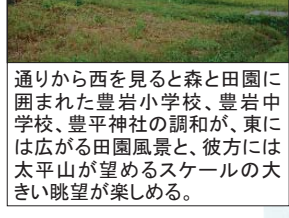
緑豊かな道を進むと、一際大きな杉が眼前に広がる。杉がバス停と一体であるかのように見える、穏やかな風景である。

㉖ 豊岩小学校前の通り



通りから西を見ると森と田園に囲まれた豊岩小学校、豊岩中学校、豊平神社の調和が、東には広がる田園風景と、彼方には太平山が望めるスケールの大きい眺望が楽しめる。

㉗ 八幡神社とその前の通り



生い茂る木々の緑と、社や鳥居の赤とのコントラストが美しい。



㉘ 陽澤院とそこに至る通り



生垣や趣のある民家がたたずむ小路の奥には、重厚な門を構えた陽澤院の厳かな景観に迎えられる。

㉙ 大森山公園



遠くからはテレビ塔と一体となった緑の景観が展望でき、公園の上からは、太平山を背景とした市街地が一望できる。

㉚ 浜田森林公園



梅林園をはじめとし、様々な樹木が植栽され、美しい森となっている。

㉛ 新屋浜公園



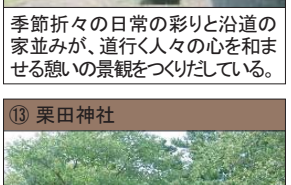
緑が広がる風景。雄物川河口と風車、男鹿半島の遠景がセットで楽しめる。

㉜ 日吉神社



背の高い木々と鳥居が、凛とした雰囲気を醸しだしている。緑豊かな木々は、新屋表町通りの趣のある景観の一角でもある。

㉝ 栗田神社



住宅地の片隅の松林の中に鳥居と社殿が鎮座し、道行く人々に安らぎの風景をもたらしている。

- 凡例
- 地形の特徴をいかにす
 - 水や緑の風景をつくる
 - 地域の歴史を大切にす
 - 暮らしの風景をつくる
 - 賑いの風景をつくる
 - 地域のシンボルとなる公共施設等
 - 風致地区
 - 旧市町村界
- (西部地域 S=1/60000)

㉞ はまなすロード



勝平山風致地区内のトンネルと風車、太平山の組み合わせが見事。

㉟ 新屋表町通り



町家や酒蔵、湧水に彩られた歴史情緒が漂う通りである(国萬歳酒造はH17都市景観賞受賞)。

㊱ 西部工業団地



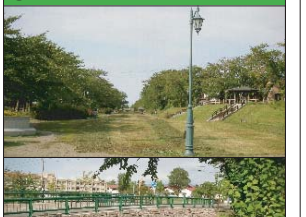
緑と調和した事業所が建ち並び、落ち着いた都市景観となっている。旧十條製紙の工場廃屋も趣がある。

㊲ 秋田公立美術工芸短期大学と市立新屋図書館



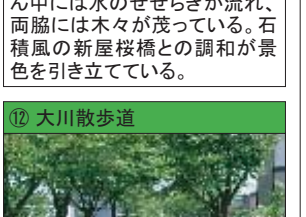
蔵を改造したアトリエと近代建築が周囲の低層住居と調和し、まちなみの景観を引き立てている。

㊳ 大川端带状公園



住宅地を縦長に横切る公園。真ん中には水のせせらぎが流れ、両脇には木々が茂っている。石積風の新しい橋との調和が景色を引き立てている。

㊴ 大川散歩道



季節折々の日常の彩りと沿道の家並みが、道行く人々の心を和ませる趣のある景観をつくりだしている。